

2023年3月期 決算説明会

2023/5/19

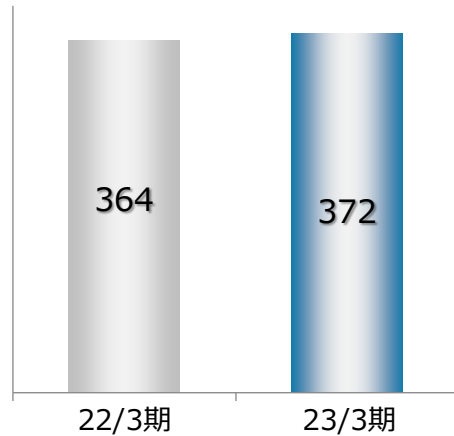
2023年3月期 決算説明

単位：億円（億円未満四捨五入）

	2022年3月期 実績	2023年3月期 実績			前期比
		上期	下期	通期	
売上高	922	481	529	1,010	+9.6%
営業利益	56	15	21	36	▲34.9%
経常利益	58	22	21	43	▲25.8%
親会社株主に帰属する 当期純利益	59	15	1	16	▲72.1%

- ◆モビリティ分野伸長、価格転嫁推進、円安効果により増収
- ◆材料費・電気料金の高騰、棚卸評価損・品質保証費用の計上により営業利益減
- ◆経常利益は為替差益の影響により当期の営業利益を上回る
- ◆繰延税金資産の取り崩し、遊休資産の減損により純利益減

セグメント別売上高



取り巻く環境

- ・ サプライチェーン混乱、中華圏景気低迷
- ・ 為替相場が円安基調で推移

業績概況

- ・ 中華圏の低迷で下期失速、円安効果で増収
- ・ 生産能力増強や材料費・電気料金高騰で労経費増、不採算製品の整理に伴う棚卸評価損増で減益

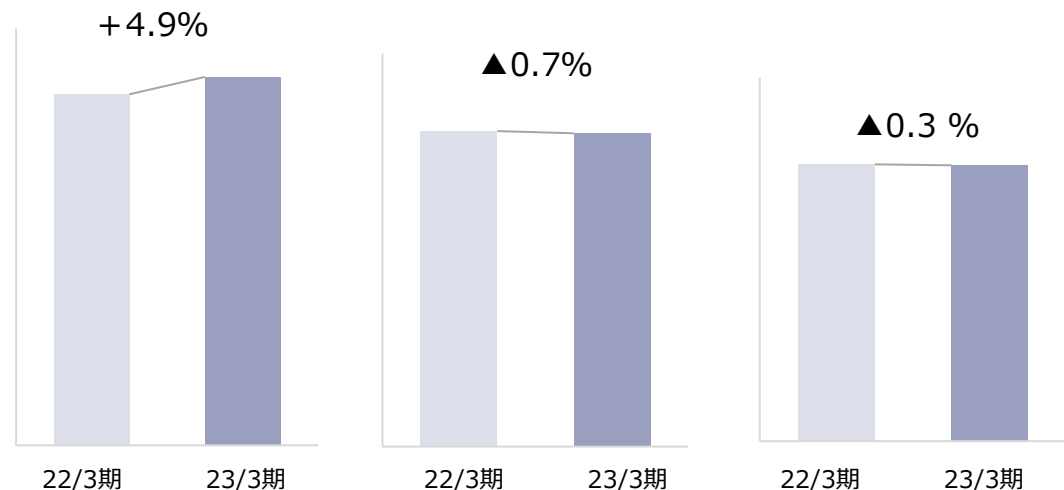
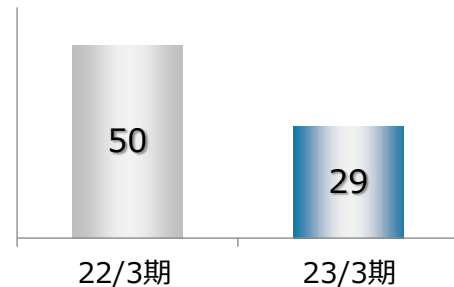
内訳

自動車

家電

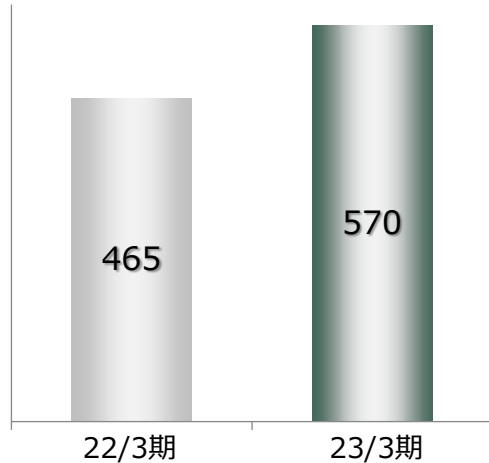
産機

セグメント別営業利益

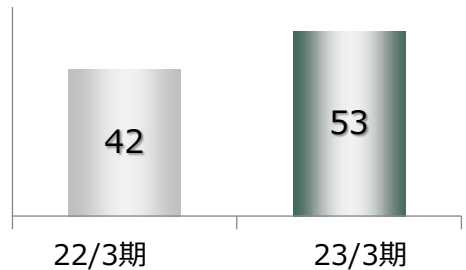


単位：億円（億円未満四捨五入）

セグメント別売上高



セグメント別営業利益



単位：億円（億円未満四捨五入）

※22/3期はセグメント組替え後の数値

取り巻く環境

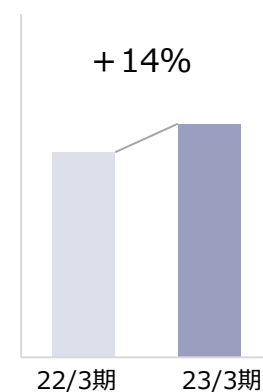
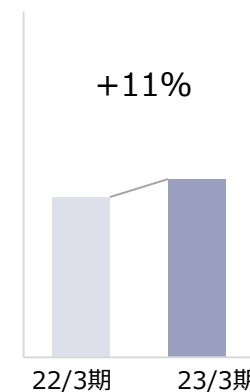
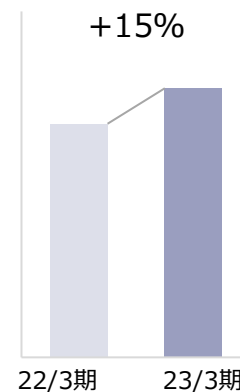
- ・ 前期、新型コロナで低迷したアジア二輪市場は大幅伸長
- ・ 対アジア通貨の為替相場は円安基調で推移

業績概況

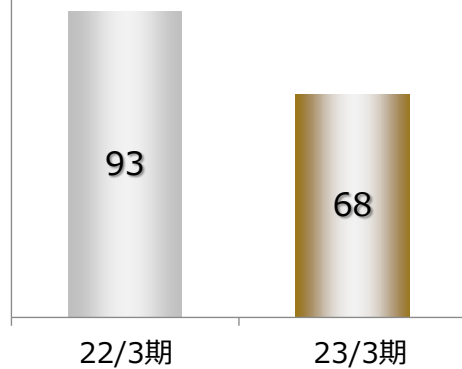
- ・ 二輪向け製品の回復、四輪向け新製品効果、円安により増収
- ・ 材料費・物流費増、品質保証費用計上も、増収や円安効果により増益

内訳

現地グループ会社の二輪車向け売上高（現地通貨ベース）



セグメント別売上高

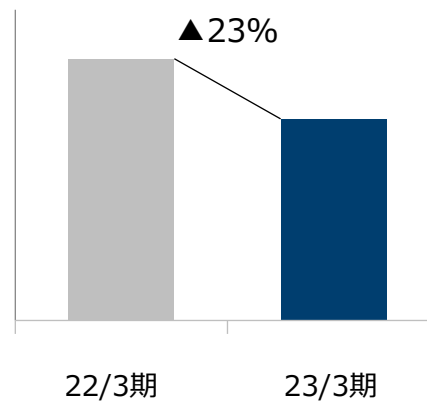


業績概況

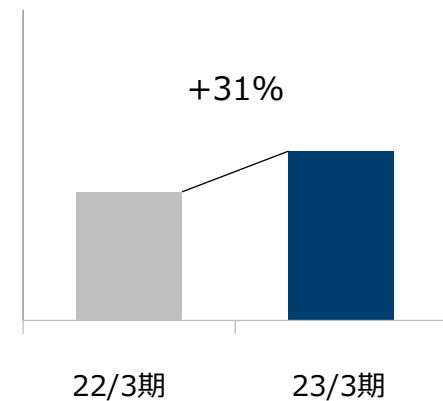
- ・ 通信向け整流器は顧客の投資抑制があり減少
- ・ EV急速充電器は部材入手難も、販売店向け中心に売上拡大
- ・ 太陽光向けパワーコンディショナは販売終息

内訳

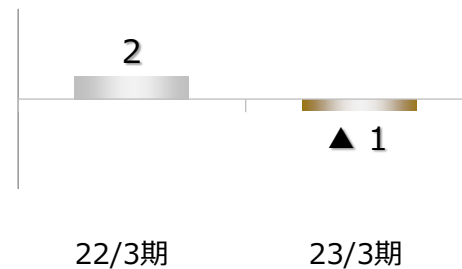
通信



EV充電器



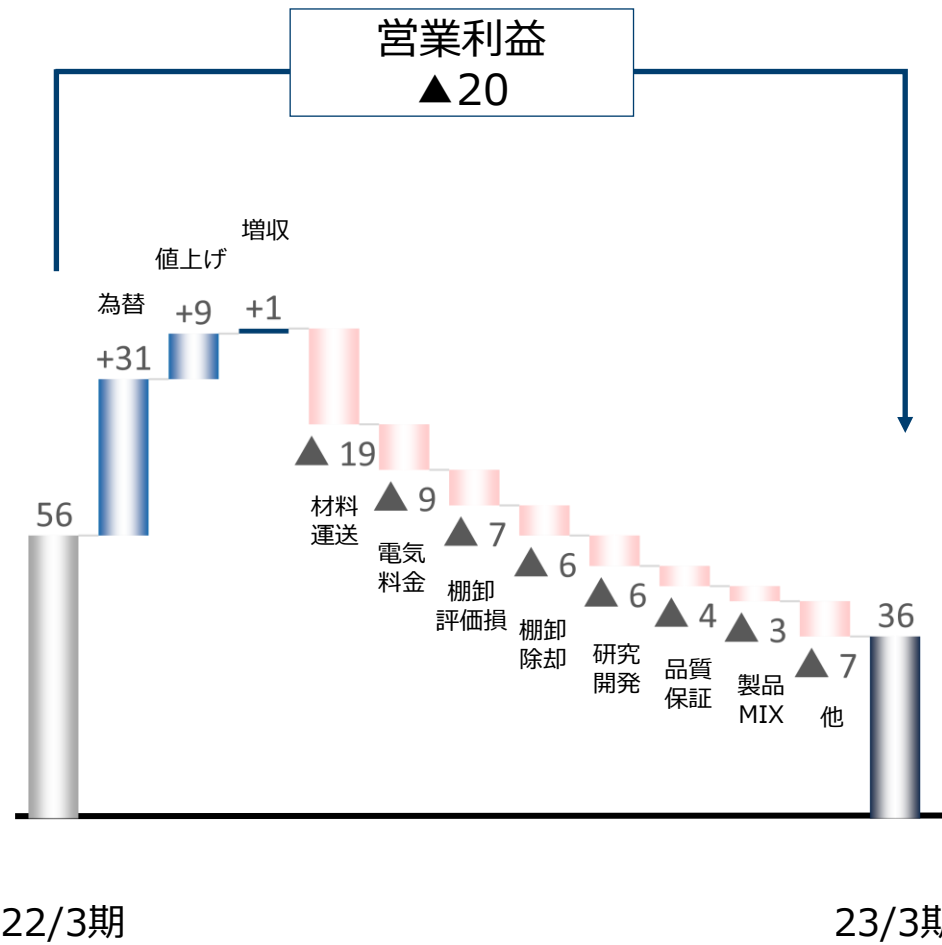
セグメント別営業利益



単位：億円（億円未満四捨五入）

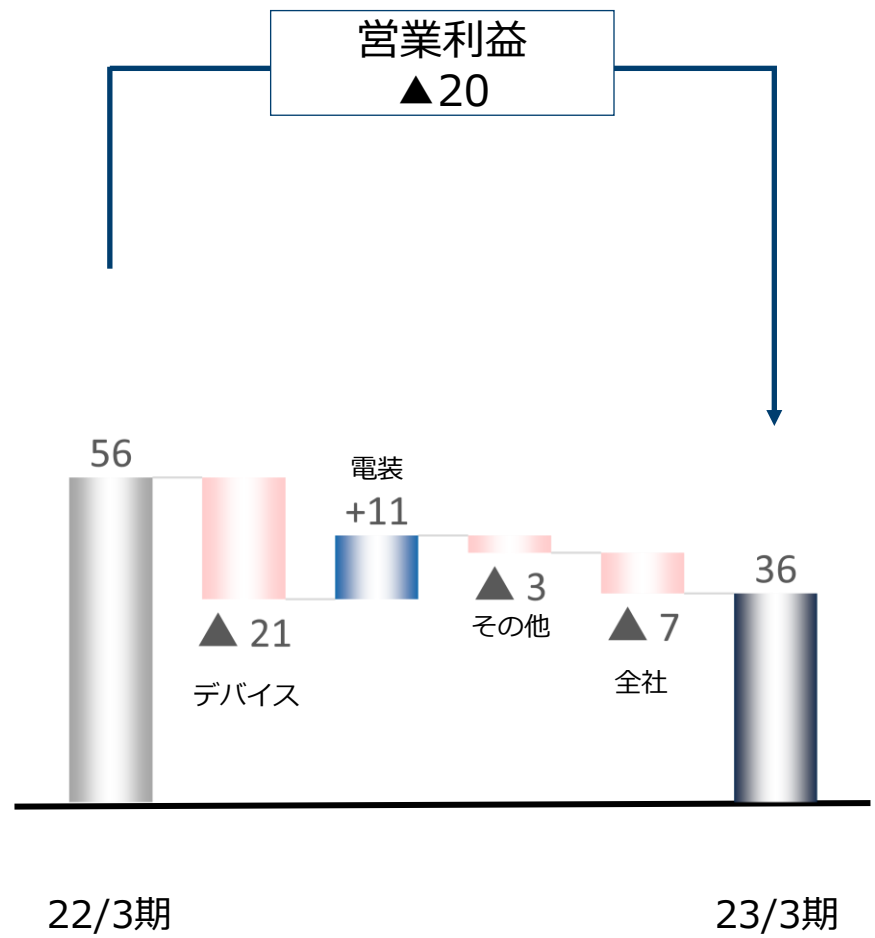
※22/3期はセグメント組替え後の数値

要因別増減益分析



セグ別増減益分析

単位：億円（億円未満四捨五入）



設備投資・減価償却・研究開発

単位：億円（億円未満四捨五入）

	2022年3月期 実績	2023年3月期 実績	前期比
設備投資	53	49	▲7.0%
減価償却費	55	57	+3.0%
研究開発費	41	47	+14.4%

為替レート

単位：JPY/USD

	2022年3月期 実績	2023年3月期 実績	前期比
単体取引高レート	112.00	132.01	+20.01円
海外子会社換算レート	109.86	130.78	+20.92円

連結貸借対照表

単位：億円（億円未満四捨五入）

	2022年3月期	2023年3月期	増減
流動資産	820	854	+4.2%
固定資産	531	527	▲0.8%
資産 合計	1,350	1,381	+2.3%
流動負債	298	325	+8.9%
固定負債	480	431	▲10.2%
負債 計	778	756	▲2.9%
純資産	572	625	+9.3%
総資産 合計	1,350	1,381	+2.3%
自己資本比率	42.4%	45.3%	+2.9pt.
有利子負債残高	399	375	▲5.9%

◆資産増（製品在庫増、調達難部材の先行手配等により棚卸資産増）

◆負債減、純資産増（退職給付制度の改定に伴う影響）

◆自己資本比率は2.9ポイント上昇

第16次中期経営計画対比

	売上高	営業利益率	R O E	R O A
16次中計最終年度目標 (25/3期)	1,180 億円	6.6%	8.3%	3.5%
16次中計初年度 (23/3期)	1,010 億円	3.6%	2.7%	1.2%

◆ROE

トプラインの伸び悩み、原価上昇で収益力低下
特別損失計上や繰延税金資産取崩により純利益減少
退職給付制度の改定や円安に伴う純資産増加
など



目標からは
かけ離れる結果に

稼ぐ力の回復に努め、中計最終年度目標達成へ

2024年3月期 業績予想

単位：億円（億円未満四捨五入）

	2023年3月期 実績	2024年3月期			前期比
		上期 予想	下期 予想	通期 予想	
売上高	1,010	543	579	1,122	+11.1%
営業利益	36	8	27	35	▲3.4%
経常利益	43	8	27	35	▲19.1%
親会社株主に帰属する 当期純利益	16	▲3	22	19	+15.5%

◆売上高はモビリティ分野の伸長により増収

◆損益面は材料費・電気料金増、為替円高想定等により減益

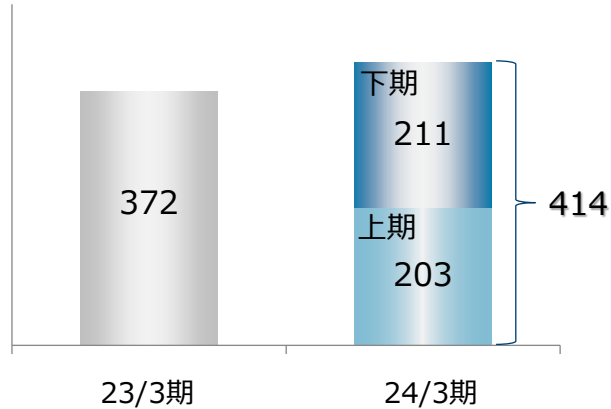
◆上期、持分法適用関連会社の株式譲渡に伴う特別損失を計上予定

連結業績予想（セグメント別）

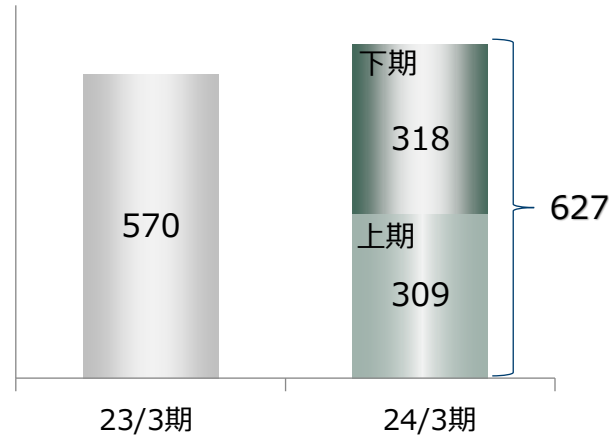
セグメント別売上高

単位：億円（億円未満四捨五入）

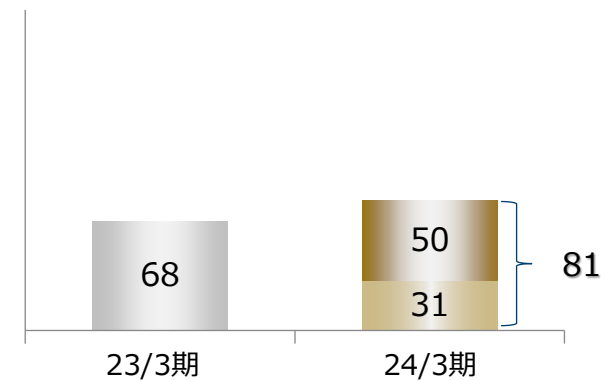
【デバイス】



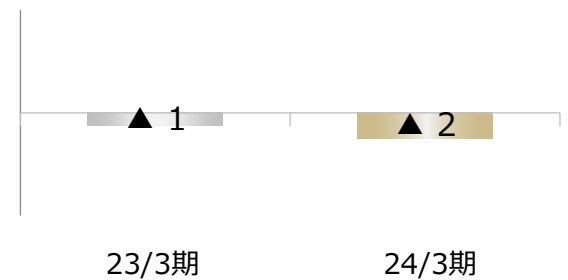
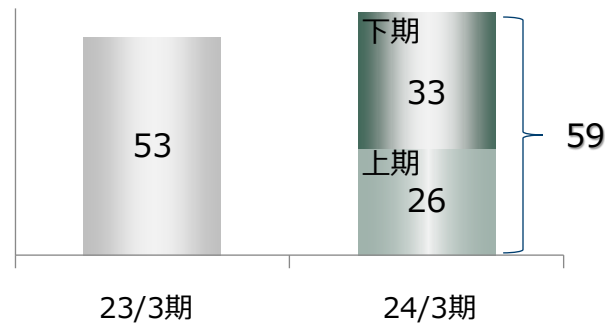
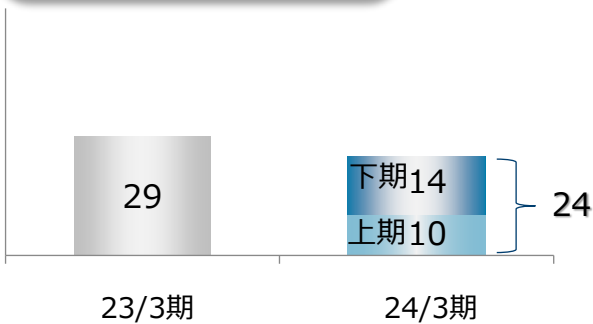
【電装】



【その他】



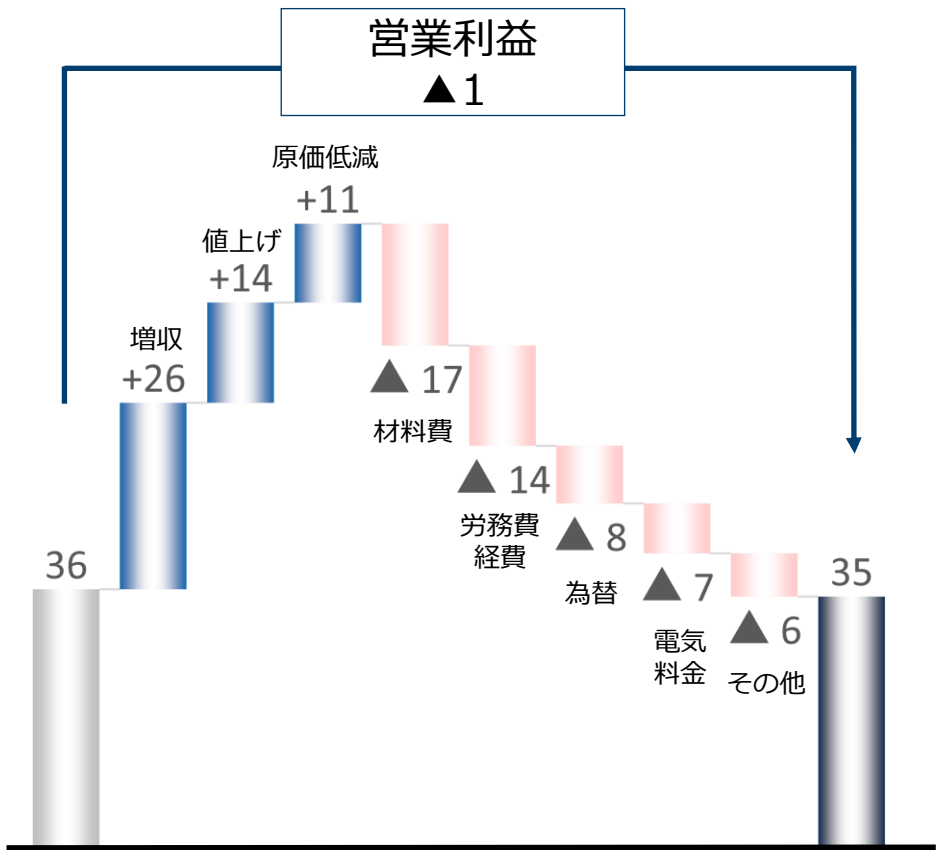
セグメント別営業利益



【デバイス】 売上はパワー半導体の需要増により増収、損益面は材料費や電気料金の高騰等の費用増を想定

【電装】 アジア二輪市場および四輪市場伸長により増収、損益面は増収効果により増益を見込む

要因別増減益分析

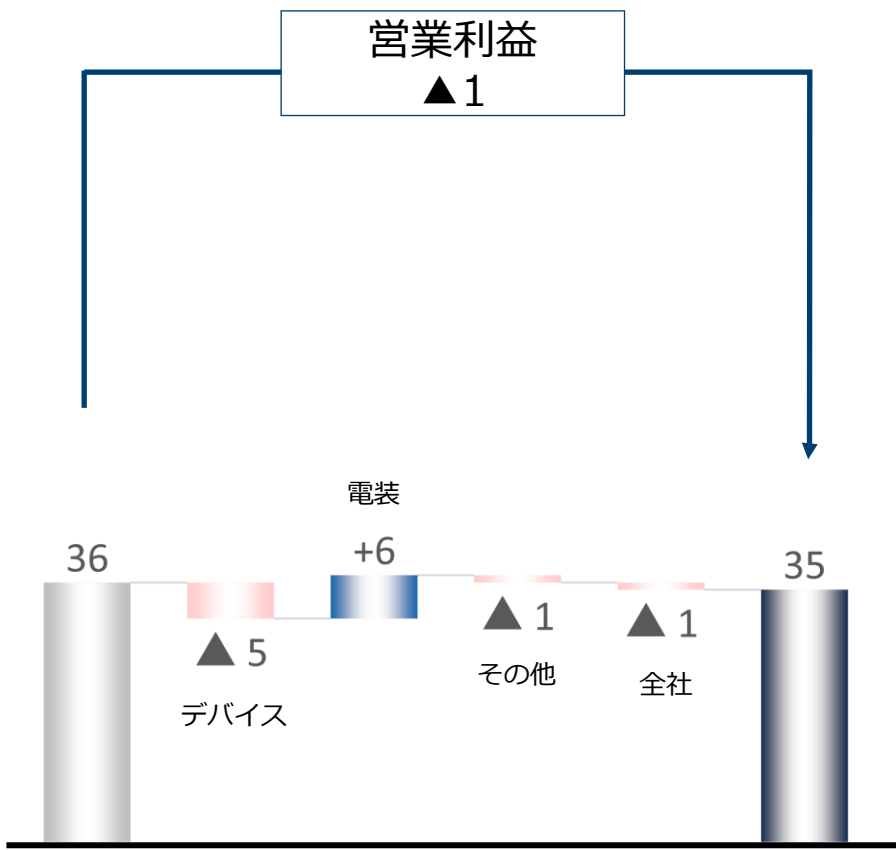


23/3期

24/3期

セグ別増減益分析

単位：億円（億円未満四捨五入）



23/3期

24/3期

設備投資・減価償却・研究開発

単位：億円（億円未満四捨五入）

	2023年3月期 実績	2024年3月期 予想	前期比
設備投資	49	72	+46.2%
減価償却費	57	57	+0.1%
研究開発費	47	53	+13.3%

為替レート

為替レート前提は、

1USドル = 129円

配当金

2024年3月期期末配当金予想は、

130円 （前期と同額）

トピックス

企業価値の最大化に向けて

事業成長の追求

収益力の強化

- 次世代製品の育成、原価低減活動の推進
- 資本コストを上回る利益水準確保
- 企業ブランド向上

資本効率の向上

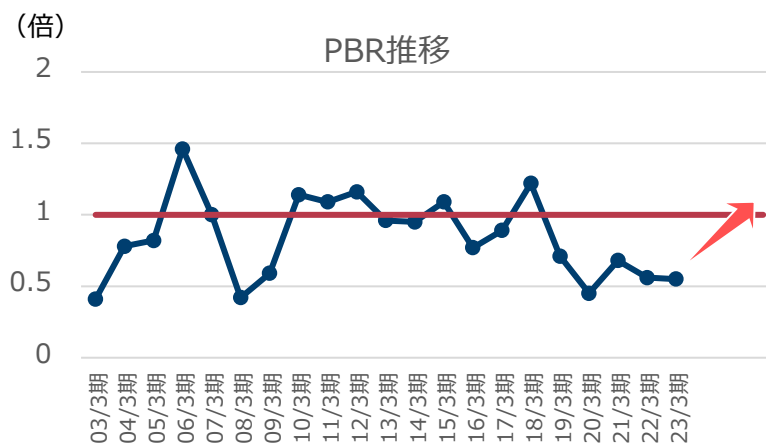
キャッシュアロケーションの最適化

- 成長のための積極投資（設備、人的資本）
- 配当等の株主還元
- 財務基盤の安定性確保

<スケジュール（予定）>

24年3月期の対応内容

- ・現状分析
⇒指標の設定
⇒改善ポイント見極め 等
- ・計画策定
⇒中長期計画の再点検
⇒投下資本の配分計画 等



企業価値の最大化を図りPBR向上へ

製品紹介



■ パワーモジュール

低損失品で自動車の小型・軽量化に寄与



産機でも
活躍



■ パワーMOSFET

高速応答性と低損失のバランスを最適化



■ ダイオード

車載品質に準拠した高信頼設計

■ DC/DCコンバータ

内製デバイスを活用し、高い変換効率を実現



■ ECU

アイドリング制御をつかさどり、排ガス・騒音の低減に貢献



■ PCU ★

二輪電動化を見据え量産開始。

*Power Control Unit



製品紹介



■ EV充電器

普通充電器から急速充電器まで
幅広いラインナップ



<新発売>

小型で手軽に設置できる6kW充電器



■ 高電圧直流給電システム

配線コストを削減可能。
高効率化、省スペース化、高信頼化を実現



企業ミッション

**「エネルギーの変換効率を極限まで追求することにより、
人類と社会に貢献します。」**

ご清聴ありがとうございました。

本資料に記載した将来に関する見通しは、現時点で得られた情報に基づいて算定しておりますが、
多分に不確実な要素を含んでおります。
従いまして、実際の業績は、業況の変化などにより記載の見通しとは異なる結果となる可能性があります。